

## (専門分野Ⅱ)

授業科目	母性看護学方法論Ⅱ	講師	助産師	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.ハイリスクな状態にある周産期の対象の看護を理解する			時間数	
				15	
				学年	
				2	
				時期	
				第2学期	
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1 2	ハイリスク妊婦と看護	1.妊娠経過の健康逸脱とその看護 1)異常妊娠・妊娠合併症 (1)流早産 (2)異所性妊娠 (3)感染症 (4)多胎妊娠 (5)妊娠糖尿病 (6)妊娠高血圧症候群 (7)血液型不適合妊娠 2)胎児及び胎盤の異常 (1)常位胎盤早期剥離 (2)前置胎盤 (3)胎児機能不全		講義	助産師
3～5	ハイリスク産婦と看護	1.分娩経過の健康逸脱とその看護 1)産道の異常 2)娩出力の異常 3)胎児および胎児付属物の異常 4)分娩時損傷 5)異常出血 2.産科処置と手術 1)分娩誘発 2)会陰切開術 3)急速遂娩法 4)帝王切開術		講義	助産師 医師
6	ハイリスク新生児と看護	1.新生児仮死 2.新生児に起こりやすい呼吸障害 3.分娩外傷 4.高ビリルビン血症		講義	助産師

7	ハイリスク褥婦と看護	1.産褥経過の健康逸脱とその看護 1)子宮復古不全 2)産褥熱 3)産褥血栓症・肺塞栓 4)乳腺炎 5)産後うつ 2.帝王切開術後の看護 3.死産・障害を持つ新生児を出産した親の看護 1)死産 2)母子分離	講義	助産師
終講試験				
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 母性看護学[2]母性看護学各論	